



山陰を元気に！



バイオイルを取り出している高橋社員。



バイオイル発生装置

当社ボイラーにて、バイオイルの連続燃焼実験が始まりました。再生重油に使用済み食用油10%混合、20%混合と再生重油100%をそれぞれ当社ボイラーで連続燃焼させて、現在の再生重油とどう違うのかを検証します。

バイオイルは現在再生重油を使用している当社ボイラーにおいては、設定変更することなく燃焼させることができました。また、使用期間中に失火や黒煙等の燃焼不良もなく、安定した燃焼を継続させることができました。1週間という短い期間でしたが、大きな手応えをつかむことができました。

今回のデータをよく分析して、使用済み天ぷら油を再生重油に添加し、バイオイルにすることでの特長、デメリットを検証していきます。

今後、このバイオイルを使用して頂くお客様の開拓をしなければなりません。地元で排出された使用済み食用油をバイオイルとして再生させ、地元で使っていただくというバイオイルの特性を理解して使用して頂けるお客様に供給して、『山陰を元気にしたい』というのが私たちの強い思いです。

まもなく、福祉の方々の協力による使用済み天ぷら油の回収実験も始まります。

参加して下さる皆さんの夢が描けるよう、実現に向けて着実に進んでいます。

(木村憲)

*バイオイル：バイオ再生重油をいいます。

お客様紹介

有限会社プロアーム 様

〒697-0023

島根県浜田市長沢町89-1

TEL 0855-22-2255

FAX 0855-22-2469

<http://fish.miracle.ne.jp/proarm/>



お気に入りのマイバイク
ヤマハ FJR 1300と
栗原社長。スタッフ3人で、
お客様の喜んでいただける
店作りに致します。

店名の由来

平成9年に当地に開業し、18年目。バイクなど動く機械物が好きで、趣味が高じて、仕事となりました。「プロアーム」

という名称は、ホンダの部品の名前で、ホンダの登録商標となっています。昭和の後半、プロアームはバイク仲間でも流行りました。バイクショップとして、一言でわかる店名にしたかったということです。バイク業界では、プロアームはあまりに有名であり、即決したそうです。

「助かった」

6年前にロードサービス（JAFなど）を始められました。お客様に、「助かった」といって、喜んでもらえることで、やる気がわき、はまっているそうです。厳寒期の夜の業務などきついことが多いですが、人助けに魅力を感じるとおっしゃいました。

ロードサービスの車たち（写真は栗原社長提供）



バイク大好きの小川様（写真左）と紅一点、荒木様。「栗原社長はギャグが大好きで楽しい社長ですが、仕事は厳しく、行動的で、いつもお客様のことを考えています。」と、お二人は社長を尊敬しています。

昨年12月半ば、下関からスキーに来られたお客様がパンクされ、要請があって出かけました。スペアタイヤに交換したものの、積雪のため高速道は走れず、一般道を夜通し走って、岩国までお送りしました。お客様の「ありがとう」の一言で疲れも吹き飛びます。

お客様サービス

年2回のツーリング（1泊2日）や家族サービスディ（日帰りイベント）にはたくさんのお客様が参加されるそうです。お客様が自然と集まってくる、お店だと感じます。

今年は、5月31日から6月1日、総勢バイク25台で、足摺岬までツーリングを行ないました。今まで、天の橋立や小豆島、遠くは長野まで、ツーリングを行なっていますが、事故は一度もありません。ちどり走行で車の流れに乗って法定速度を守って走行しています。小さなトラブルはありますが、その都度、修理を行っています。日帰りイベントも企画し、これは家族参加型で、車やバイクで目的地（片道100kmくらいのところ）に集合し、バーベキューなどを楽しんでもらいます。このときも50人くらいのお客様に参加してもらっています。お客様も毎年、楽しみにしていただいています。

今後、四輪車の整備・販売も行っていく予定です。車やバイクで困ったときはお電話下さい。技術的に難しい鍵穴あけサービスは得意分野で、独学で技を磨きました。「技術は教えてもらうのではなく、自ら試行錯誤して覚えるもの」と、教えていただきました。

（聞き手：長野）



ツーリングの様子
（写真は栗原社長提供）



しまねの環境を守る

島根県産業廃棄物協会総会に出席させていただきました。

年々増え続ける産業廃棄物、これらが適正に処理されなければ、自然環境が破壊され、私たちの生活環境が破壊されてしまいます。廃棄物の減量化、資源化、そして適正処理が必須になっています。

当協会は、「業界のレベルアップのための研修会」、「環境保全のための不法投棄パトロール・不法投棄物撤去作業」、「環境教育普及基金の設置による小中学生の環境学習への支援」等の活動を通して、産業廃棄物の適正処理と再生利用の促進に積極的に取り組んでいます。平成19年には、島根県と「災害廃棄物処理等協力協定書」を締結しました。昨夏の石見部の豪雨災害では、迅速な災害廃棄物処理が行なわれました。廃棄物の発生抑制等を図るため産業廃棄物減量税も設けられましたが、使い道は検討中ということです。

島根県の歴史と豊かな環境が失われないよう、私たちも廃棄物の減量化等に真剣に取り組んでいきたいと思ひます。(長野)



サッカーワールドカップいよいよ開幕

サッカーワールドカップブラジル大会がいよいよ始まる。個人的にはベスト4に入りたいと願っている。

そのブラジル大会は、治安の悪さが大きな問題となっており、主催者のFIFAからも「安全にW杯を楽しむための7つのポイント」なるものが公式サイトに記載されるほどである。

今でも治安が悪いところであるが、昔はもっとひどかったようだ。

サンパウロ州は、この治安の悪さを何とかしようと「治安改善の切り札」として導入したのが日本の「交番制度」である。

今では270箇所に交番があり、おかげで1999年には10万人に35件だった殺人事件の発生率が2010年には10件に激減したようだ。

日本の交番の歴史は古く、江戸時代には町奉行配下の「番屋」が置かれ、庶民の暮らしを守ってきたのです。

このような日本の文化が世界で評価され、安全で安心な国づくりの役に立っていることを知り、日本人として大変誇りに思ひます。

ブラジル大会が安全に開催され、更に日本チームが上位に入ってくれるよう応援します。



環境整備に伴い、花壇付近の整備も行いました。鎌田さんにドラム缶を改造していただき、雨トイからの雨水が溜まるように設置し、それに蛇口をつけて使い勝手を良くしました。最近、天気が良く、雨が降りません。雨水も有効利用していきます。(大國)

元気の出る言葉

中村天風師

現代は、物質文化が異常に進歩して、精神文化がおいてきぼりにされている

人生というものは、一回限りのものです。それゆえ、その人生を価値高く活かさなくては、この世に生まれた甲斐がありません。ただ惰性的に毎日を送るのではなく、取り替えることの出来ない人生に応用していきたい。

(長野)



「ユリノキ」花はユリというよりチューリップ。街路樹や公園に多く植えられています。葉の形が特徴的です。

社長が薦める今月の一冊

瞬 matataku

撮影 大山王国 橋本孝志 今井出版刊

この美しい景色を永遠に閉じ込めておけないだろうか。
大山写真集

快晴の冬、大橋の上を中学校へ通う時、冠雪した大山が遠くから、私をしっかりと見つめていました。米子に勤める友人が出勤途中、正面のウィンドウ越しに大山に向かって、「今日一日がんばります。力をください」とつぶやくのが毎日の日課でした、と語ったことを覚えています。由良育英高校出身の知人は、大山とそれに連なる蒜山三座が、いつも遠くから自分をあたたかく包んでくれていましたと懐かしく語りました。

先日鳥取砂丘へ行ったとき、数万年前に大山の噴火によって降り積もった溶岩が露出しているのを見て、噴火の大きさ、自然の力強さを目の当たりにしました。

この自然の動も静も、私たちのすぐそばにあります。豊かな自然と共生できる私たちは幸せです。(山根)

右写真は、写真集より



今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名に鳥取名産大栄スイカを差し上げます。クイズの締切は6月末です。奮ってご応募下さい。

Q：サッカーのワールドカップがいよいよ開幕します。日本の初戦相手は、コートジボワールですが、○対○でどちらが勝つでしょう？



先月号の答は、「博多どんたく」でした。浜田市荒木様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着情報

・**㈱ワークステーション30周年記念誌**

・**私の仕事 私の人生**

㈱ワークステーション末吉会長から寄贈賜りました。

・**男一匹、負けたらあかん** 越智直正

日本経営合理化協会

・**神々の国の旅案内** ラファティオ・ハーン

八雲会

・**心を高める、経営を伸ばす一素晴らしい人生をおくるために**

稲盛和夫

PHP研究所

・**話す力**

草野仁

小学館

・**神道と日本人**

葉室頼昭

春秋社

・**仕事をもっとうまくいく！書き添える言葉300**

むらかみかずこ 日本経済新聞出版社

・**茂木健一郎の脳がときめく言葉の魔法**

茂木健一郎

かんき出版

・**まんがと図解でわかる7つの習慣**

宝島社

・**平林流 大人の接遇スパルタレッスン**

宝島社

・**メチのいた島一語り伝える恵み豊かな島** 竹島

すぎはらゆみこ

山陰中央新報社

・**それでも僕は夢を見る**

水野敬也

文響社

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。本代は¥1,800+税(税込1,944円)です。

編集後記

出雲養護学校中等部高等部の体育祭に参加させていただきました。

先生方の献身的な、生徒さんへの接し方に感銘を受けました。また、保護者の方々も競技の応援では、どの競技でもわが子が登場したときのように盛んに声援を送り、元気付けておられました。まさに、生徒・保護者・先生方が一体となった体育祭であったと思います。中等部・高等部が色別に一チームになって助け合い、一つのことを成し遂げるということは大きな教育的意義があると感じました。

また、先生方の手助けもあって、全員が競技に参加できました。一つの競技をみても、生徒さんの障害の程度に応じて、臨機応変な対応が必要です。

何でも、柔軟なものの考え方、対応を身につけ、どんな事態に遭遇しても冷静に行動することができるようにしたいと思います。(長野)

発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業㈱ ECO'S通信編集部 長野

E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。



山陰と会社を元気にする

3年後オンリーワン企業になる

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

これから大きく時代が変化します。2020年東京オリンピックの開催が決まり、約30兆円の投資が行われる予定です。上場企業は大幅な増益であると新聞は報じています。中小企業を取り巻く環境も改善しているとも伝わっています。

しかし反面ある調査によれば(*) 20~30年後には人口の減少により、この山陰の29の市町村が消滅すると予測しています。しかも、現在私たちの島根、鳥取を合わせた山陰の人口は、全国の1%以下です。人口の減少は急加速で到来します。

(*中央公論 6月号 ストップ「人口急減社会」)

経済から見ると、特に7年後の東京オリンピックまでは、投資は東京近郊へ一極集中します。国家予算は東京周辺と震災復旧に重点的に配分され、人口の1%未満の地域へ多く配分されることはありません。しかも大手企業は、この小さい市場にも、力を緩めることなく攻めてきます。

そこでまず私たちは、少子高齢化と人口減少、そして全国でも最も人口の少ない地域で生きているという、厳しい現実を直視する。その上で私たちの明るい

将来を、自分たちの力で創っていく。そしてこの山陰が少しでも元気になることを目指し、会社あげて努力することが私たちの使命です。

稲盛さんはこう言っています。目的は高ければ高いほど、人をやる気にさせ、大きい成功を勝ち取ることができる。しかし逆に小さい目標であれば、簡単に達成してしまえばそれで終わりになり、気持ちは萎(しぼ)んでしまうと。

こんな危機的状況だからこそ、私たち一社の力は小さくても、私たちにできる最大限の努力をする。それがこの地域で、40年間成長させてもらった私たちの務めと考える。それこそが私たちがいつまでもこの地域で必要とされ続け、結果私たちがこれからも元気で、成長させてもらえる必然です。

そんな状況下でも生き残り、成長できる唯一の方法は、私たちのそれぞれの分野で、オンリーワンになる。つまり私たちが自分の商品・サービスの価値を高め、お客さまから必要とされるただ一つの会社。そして一人一人がお客さまから強く必要とされる社員になることです。

私はこう考え、こう実行します

- 【安原】私たちの良さをもっと掘り下げお客様のために徹底して役に立てることを考えて実行する。
- 【松下】お客様に名指しで受注できるよう、私の付加価値を高める。
- 【河上】今までの信頼を無くさないよう、これからも日々努力する。
- 【岸本】メンテナンス事業部員が元気に、自分の仕事に自信と誇りが持てる部にします。
- 【榎並】お客様に私たちの仕事をもっと理解していただけるように、分かりやすい資料を持って情報発信します。
- 【山口】私は仲間を信じ、仲間と共に成長します。
- 【大國】発想を豊かに持って挑戦する。
- 【吾郷】自分の能力を向上させ、お客様からも信頼され、お客様から強く必要とされる社員を目指す。
- 【木村】新しいエマルジョンブレーカーの開発に力を入れ、活動する。
- 【木村憲】高い目標をもつ。
- 【松本】お客様から強く必要とされる社員になりオンリーワン企業をめざす。
- 【岡田】お客様に指名していただけるよう一つ一つの作業にあたります。
- 【高橋】私はまず、自分の中でオンリーワンを見つけ実行します。

- 【長谷川】お客様から高く評価していただくため、日々努力していきます。
- 【植尾】お客様に指名していただける人材になります。
- 【小村】夢が夢で終わらないために、現実をしっかりとらえて努力する。
- 【恩村】正確なデータを早く提供できるようにします。
- 【金森】目標を高く持ち、「もったいない」ことはしない。
- 【藤原】私はお客様に喜んでいただける仕事を目指します。
- 【安達】指差呼称をして安全作業をします。
- 【野々村】お客様から評価してもらえるように努力を惜しまない。
- 【藤原大】いろいろな作業を行い、自分の力としていきます。
- 【田中】自分の力をもっと伸ばし、地域貢献できるよう努める。
- 【宮北】自分の仕事に誇りがもてるように、誰に見られても恥ずかしくない作業をする。
- 【松浦】お客様との対話を大事にします。
- 【石川】6月に危険物試験があるので、合格できるようがんばります。

- 【清水】私は目標に向かって成長していきます。
- 【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全(KY)を徹底し、安全作業が出来るよう、常にチェックして作業を行ないます。
- 【足立】私は自分の仕事を丁寧に確実に行ないます。
- 【藤田】お客様に頼りにされ、満足していただけるよう日々の仕事に取り組みます。
- 【三原】必要とされる人材になるために日々努力し、成長していけるようがんばります。
- 【長野】お客様に期待されるエコス通信を目指す。



フナバラソウ

交通安全活動

平成23年から、当社松江営業所は、松江市交通安全モデル事業所として、交通安全活動に取り組んできました。このたび、指定期間が満了するのに伴い、感謝状をいただくことになりました。その活動は、通勤通学路での街頭指導・ノーマイカーディへの参加等です。

当社独自の活動として、個人の交通安全目標をさだめ、一定期間、その実施に向けて活動しました。個人目標をカードにして、車運転時に常に見えるよう、ダッシュボードに貼り付けたり、紐でつるしたりと各自が工夫しました。

最近、無事故無違反でそれぞれの目標が達成されました。今後も子供やお年寄りに対して優しい運転を心がけ、交通事故防止に取り組んでまいります。
(長野)



祝・合格おめでとう

危険物取扱者乙種第四類

宮北さん

清水さん

「松江の六人衆」を読んで

高橋みか著

本書では、松江で手仕事にまい進する5人の職人が登場します。この中で一番身近に感じられる出雲そばの佐藤博志さんについて感想を述べます。

平成19年4月、道路拡張のため、米子町から奥谷町へ店を移転されました。へるん旧居に近い観光客がたくさん集まる場所で、いきなり、お客様が1.5倍になったそうです。

移転した店では、そばを打つ小さな角部屋が外からも見えるようになっていて、そば打ち職人の素顔が見えるのです。「お客様に喜んでいただけるそばを打つ」と愚直であることに誇りをお持ちです。佐藤さんの好きな言葉が、『剛毅朴訥』で論語に出てくる言葉で、「飾り気がなく、物事にくじけないさま」という意味です。

私自身もいろいろな困難に遭遇しても、くじけずこつこつと地道に突き進んでいきたいと思えます。
(長野)



読書のススメ

(株)フォーデック 泉様から21冊の本の寄贈を賜り「泉文庫」として登録させていただきます。泉様は、本が大好きで、常に身近に本がある生活です。そのような本好きになったきっかけは…

もともと読書が大嫌いでした。夏休みの読書感想文が苦痛でした。ところが、社会人一年生のとき、会社の命令が毎日、本屋さんに行くことでした。世の中の流れを知るには本屋さん・百貨店（今なら、コンビニエンスストア）家電量販店です。自分の知らないことがこんなにあったのか、大変驚きました。本屋さんに行くと、自分の無知に気付き、謙虚になれるのです。心に残ったお勧めの本があります。

- ・「チャンスがやってくる15の週間」
 渋井真帆訳　ダイヤモンド社
- ・10分あれば書店に行きなさい　齊藤孝著
 三省堂

((株)フォーデック 副社長 泉様より)

読書はまさに「こころの栄養」といえるでしょう。向学心に燃える泉様に見習い、私たちも知識を求めて、いい本に出会いたいと思います。ありがとうございます。
(長野)

「泉文庫」を紹介します

- ・生き方　稲盛和夫　サンマーク出版
- ・目のつけどころ　山田真哉　サンマーク出版
- ・あいさつの教科書　挨拶教育研究会　中経出版
- ・一流になる力　小宮一慶　講談社
- ・未来経済入門　小宮一慶　ビジネス社
- ・小宮一慶の深堀り政経塾　小島一慶　プレジデント社
- ・20代で使ってはいけない100の言葉　千田琢哉　かんき出版
- ・仕事ダイエット　山崎将志　PHP研究所
- ・プロの条件　藤尾秀昭　致知出版社
- ・「あいうえお」で会社も人も成長する　神野勝　幻冬舎
- ・天才バカボン 幸福論 夜のつぎは朝なのだ。
 バカ田大学しあわせ研究部　主婦の友社
- ・何のために働くのか　北尾吉孝　致知出版社
- ・ひらめき力速習教室　小宮一慶　PHP研究所
- ・仕事の基本とマナーを学べ　今村道子/船戸美幸
- ・営業は準備が9割！　小幡英司　ディスカバー・ツウエンティワン
- ・伝える力　池上彰　PHP研究所
- ・先送りできない日本　池上彰　角川書店
- ・知らないと恥をかく世界の大問題　池上彰　角川書店
- ・希望のつくり方　玄田有史　岩波書店
- ・信頼関係の作り方　朝倉千恵子　フォレスト出版
- ・杓・し・の基本　これだけシート！　今井繁之